

電波時計 (メロディ報時付掛時計) 取扱説明書

〇〇〇 特 長 〇〇〇

これは便利！自動で時刻合わせ

標準時刻の電波を受信して毎日時刻合わせを自動的に行います。

暗くなると秒針が眠ります

暗くなると秒針が停止して気になる音の発生を抑えます。

時刻をお知らせします

- ・毎正時にはメロディの後に時刻に対応した数だけ鐘が鳴ります。
- ・30分には1回鐘が鳴ります。
- ・人形が鐘を打つような動きをします。

目 次

1. ご使用上の注意	P.2
2. お手入れについて	P.2
3. 電波時計について	P.3
4. ご使用場所について	P.3
5. ご使用方法	P.4
6. 電波サーチ機能の使い方	P.5
7. 時計の掛け方	P.5
8. 時刻のバックアップ機能	P.6
9. 電池の交換時期お知らせ機能	P.6
10. 電波を受信できない場合	P.6
11. 電波受信機能のON/OFF操作	P.7
12. 明暗センサー	P.7
13. 報時と動き	P.7
おもな製品仕様	裏表紙
アフターサービスについて	裏表紙
お問い合わせ先	裏表紙

お買い上げいただきありがとうございます。

●お使いになる前にこの説明書をよくお読みください。

●お読みになった後も必ず保管してください。

1. ご使用上の注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)



禁止

この表示は、してはいけない「禁止」内容です。



警告

この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



強制

この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



注意

この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

誤飲による事故防止について



警告

小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

アルカリ電池について



警告

- 電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池について



注意

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。

- + (プラス)、- (マイナス) を逆に入れてください。
- 指定された電池を使用してください。
- 新しい電池と古い電池の混用や種類の異なる電池の混用はしないでください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、すべて新しい電池とお取りかえください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子 (接触部) の汚れを落としてから入れてください。



分解禁止

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。



注意

時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

2. お手入れについて

長くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 時計を掛けて使用していると、静電気により壁面や時計が汚れることがあります。定期的に掃除をしてください。

3. 電波時計について

電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

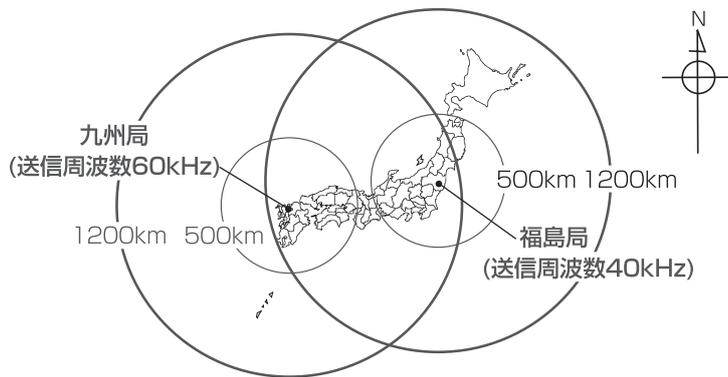
日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(<http://jjy.nict.go.jp>)



自動的に送信局を選択して受信します。

受信可能な範囲

送信所からおおよそ約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。

○標準電波の送信が止まることがあります

送信所の定期点検や落雷などにより送信が停止することがあります。詳しい情報は、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

○海外でのご使用について

この時計は日本以外の国で送信されている標準電波を受信することができません。

海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信して日本の標準時刻を表示したり、誤った時刻を表示することがありますので電波受信機能を停止させてお使いください。

4. ご使用場所について

この時計は標準電波を受信することにより、時刻を修正しますので、電波の受信しやすい窓際などでお使いください。

電波を受信しにくい環境について

つぎのような場所では受信できない場合や誤受信することがあります。



ビルの地下や大型ビルの奥まった部屋など電波の届きにくいところ



工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所



電化製品やOA機器の近く、またはスチール机等の金属製家具の上や近く



高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く



金属製の雨戸やブラインドの近く



朝夕の時間帯、雨天のとき

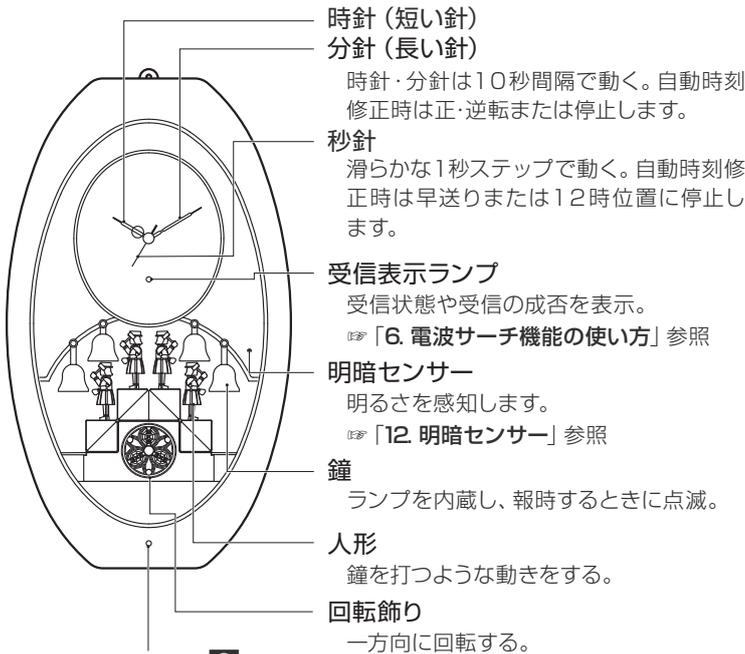
下記のような場所では使わないでください。

機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+ 50℃ (50度) 以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が- 10℃ (氷点下10度) 以下になる所。(プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります)
- 浴室など、湿気の多い所。
- ほこりが多く発生する場所。(空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まるがあります。)
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まるがあります。)
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

5. ご使用方法

電波サーチ機能により、時計を設置したい場所の電波状況を調べたり、よりよい電波状況の場所に時計を設置することができます。詳しくは「6. 電波サーチ機能の使い方」をご覧ください。



時計 (短い針)
分針 (長い針)
時計・分針は10秒間隔で動く。自動時刻修正時は正・逆転または停止します。

秒針
滑らかな1秒ステップで動く。自動時刻修正時は早送りまたは12時位置に停止します。

受信表示ランプ
受信状態や受信の成否を表示。
☞「6. 電波サーチ機能の使い方」参照

明暗センサー
明るさを感じます。
☞「12. 明暗センサー」参照

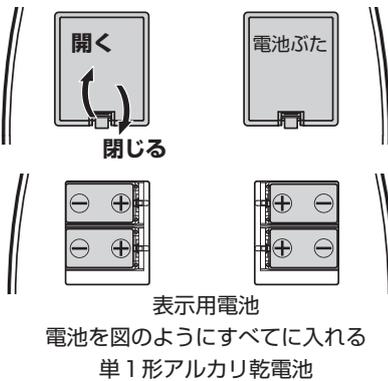
鐘
ランプを内蔵し、報時するときに点滅。

人形
鐘を打つような動きをする。

回転飾り
一方向に回転する。

モニターボタン 9
モニターボタンを押すと報時音の試聴ができます。
☞「13. 報時と動き」参照

【電池の入れ方】 2 3 4



表示用電池
電池を図のようにすべてに入れる
単1形アルカリ乾電池

電池からの液もれ注意

電池が切れた状態、例えば、時計が動かない、回転飾りが止まっている。このようなときは電池を新しいものにすべて交換するか、電池を取り出してください。放置した場合、電池からの液もれにより、時計、壁面、家具などに損傷を与えます。

電池を入れて電波を受信させます

手動で時刻を合わせる場合は、「10. 電波を受信できない場合」の「手動での時刻合わせ」をご覧ください。

1 音量を最小にする

音量つまみを左に回して音量を最小にします。

2 電池ぶたを外す

裏面の2つの電池ぶたを外します。

3 電池を入れる

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて指定の電池を4本入れます。⊕⊖を逆に入れると電池の発熱、破裂、液もれなどの原因になります。

4 電池ぶたを取り付ける

5 強制受信ボタンを押す

受信表示ランプが3秒間点灯し、針が動き出し約3分以内に時刻を表示します。

※受信中はボタン操作をしないでください。

※表示する時刻は内蔵電池により駆動している時刻です。☞「8. 時刻のバックアップ機能」参照。

6 時計を掛ける

「7. 時計の掛け方」に従い、時計が落下しないように確実に掛けてください。

7 約15分後に電波受信の結果を確認

受信表示ランプの見方は「6. 電波サーチ機能の使い方」参照。

受信成功：「2秒に1回点滅」→正しい時刻

受信失敗：「消灯」→時刻は不正確

※受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。強制受信ボタンを押して再度受信させてください。

※受信に失敗した場合は「10. 電波を受信できない場合」をご覧ください。

【裏面操作部】



時刻合わせボタン
手動で時刻合わせをするときに使用します。☞「10. 電波を受信できない場合」参照

強制受信ボタン 5

電池を入れた/場所を変えた/誤表示をした/誤作動/いずれかに該当したときに押します。

【側面操作部】



音量つまみ 1 9

つまみを回して報時の音量を調節します。
右回転 ∪: 大きく 左回転 ∩: 小さく

報時スイッチ 8

自動消音
ON • OFF

報時の設定

8 報時スイッチを設定する

ON : 毎正時、30分に報時します。

自動消音 : 暗くなると報時しません。

OFF : 報時しません。

9 音量を調節する

モニターボタンを押し、報時している間に音量つまみを回して音量を調節します。

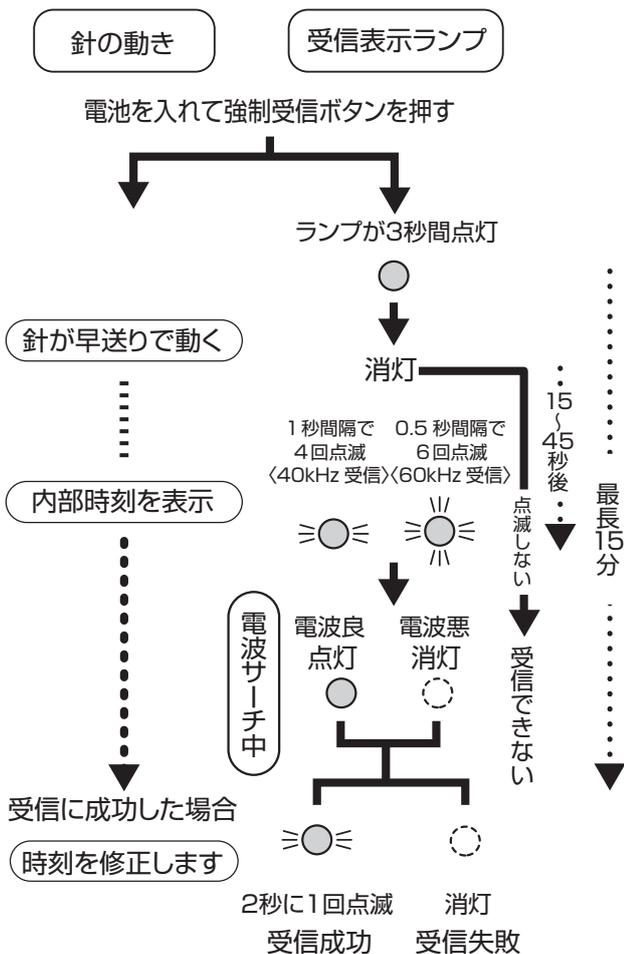
下記の項目もあわせてお読みください。

☞「12. 明暗センサー」参照。

☞「13. 報時と動き」参照。

6. 電波サーチ機能の使い方

受信表示ランプの状態により、電波を受信できる場所かどうかを知ることができます。この機能は、電波受信機能がONのときに使えます。



■操作手順

- 窓際など電波が受信しやすいところで、時計の強制受信ボタンを押します。
受信表示ランプが約3秒間点灯後、針が順方向または逆方向に動いたり、止まったりした後に時刻を刻み始めます。
 - 15～45秒後に受信表示ランプが点滅し、その後点灯するまで待ちます。
およそ1分以上待っても点滅しない場合は、時計の向きや場所を変えて①からやり直してください。
 - 受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動します。
 - 受信表示ランプの状態を確認します。
電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。
 - ①消灯→電波を受信できません。
①からやり直し、設置場所や時計の向きを変えてみてください。
 - ②不規則な点滅や短い間隔での点滅→電波が弱いです。
受信に失敗する可能性があります。
 - ③点灯→良好な電波状態です。
 - ④2秒に1回点滅→受信に成功して受信終了
- ※サーチおよび受信は強制受信ボタンを押してから最長15分です。

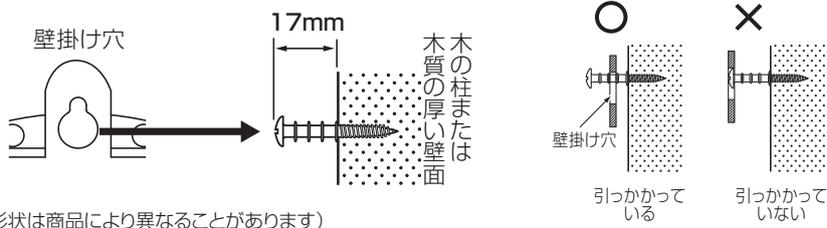
7. 時計の掛け方



時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。時計を掛ける面に適した壁掛け金具、ねじを選択してください。また、時計を掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

- 上記以外の場所(石こうボード、コンクリートなどの壁面)に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

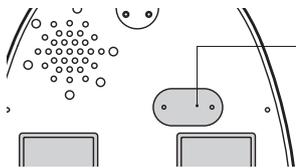
時計を垂直に掛けてください。

垂直に掛けないと人形や回転飾りの動きが正常に動かないことがあります。

8. 時刻のバックアップ機能

この時計は、工場出荷時に電波を受信させ、内蔵電池により時を刻みつつづけています。また、内蔵電池により受信を試み、受信に成功した場合、時刻を修正しています。

表示用電池を入れて強制受信ボタンを押すと、内部の時刻に基づき、針がすばやく時刻を表示します。また、表示用電池が消耗したときや取り外したときは、内蔵電池に切り替わり時刻を刻み続けます。



内蔵電池
お客様の操作は必要
ありませんので、開
けないでください。

※内蔵電池のみでは、時刻表示、報時および回転飾りは機能しません。

※電波受信機能がOFFのときは受信を行いません。

※表示用電池で時刻表示がされている場合は、内蔵電池をしません。

9. 電池の交換時期お知らせ機能

電池の残量が少なくなると秒針が明るいところでも12時位置で停止します。停止してから1ヵ月程度、時分針は時刻を表示しますが、お早めに電池を交換してください。

※指定の電池以外では、電池の特性が異なることにより正常に機能しないことがあります。

※電池の残量が少なくなると報時など正常に機能しなくなることがあります。

※お知らせ状態になってから、時計が停止するまでの期間は、ご使用状態により変動します。

※電池を交換したときは、必ず強制受信ボタンを押してください。

10. 電波を受信できない場合

電波の受信に失敗した場合、3通りの対処方法があります。

①翌朝まで待つ

一般的に、夜間は電波の受信がしやすくなりますので、翌朝まで待っても受信できない場合は、設置場所を変える必要があります。

②時計を電波の受信しやすいところに移動して設置

電波サーチ機能を使い受信しやすいところに設置してください。

③時刻合わせをしてその場所で使用する

ベランダなど屋外で、電波の受信に成功させるか、手動で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時間精度はクォーツ精度になります。

※電波を受信しにくいところで使用すると、ノイズにより誤った時刻を表示することがありますので、電波を受信しやすいところでお使いになるか、電波受信機能をOFFにしてお使いになることをお勧めいたします。☞「11. 電波受信機能のON/OFF操作」参照。

手動での時刻合わせ

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

時刻合わせボタンを押すと、時針・分針・秒針が動き始めます。

○時刻合わせボタンを押して、すぐに離した場合は1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けた場合は、早送りで動きます。このとき、秒針は12時位置になったときに停止し、ボタンを離したときに動き出します。

秒針の動きについて

秒は、時刻合わせボタンを離したとき、"0秒"に設定されています。秒針が早送りで動いているときに、時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りで現在時刻の秒位置まで動き、その後滑らかなステップで1秒単位に動きます。

11. 電波受信機能の ON/OFF 操作

ノイズなどにより誤受信しやすいところや、意図的に時間をずらしてお使いになるときに、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度となります。

■電波受信機能をOFFにするには(停止するには)

強制受信ボタンを押し、その後、受信表示ランプの点灯に合わせ、強制受信ボタンを3回押しします。(点灯したらすぐに押ししてください)

ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。

強制受信ボタン → 押す → 押す → 押す → 押す

受信表示ランプ ↳点灯 ↑ ↳点灯 ↑ ↳点灯 ↑ ↳点灯しない

※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送り
で動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

■電波受信機能をONにするには(開始するには)

先に時刻合わせボタンを押しながら、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。**その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。**

時刻合わせボタン 押しつづける……離す

強制受信ボタン ↳ 押す ↑ ↳ 押す

受信表示ランプ ↳点滅 ↳点灯(受信を開始)

ご注意

※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。

※出荷時の電波受信機能設定はONです。

※単1形アルカリ乾電池を取り出しても設定は変化しません。

12. 明暗センサー

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針は12時位置に到達したところで停止し、受信表示ランプが消灯します。また、報時スイッチが自動消音のときは報時を停止します。センサーは、時計周囲の明るさに反応しますので、昼間や夜間の照明時などでも明るさが不足して、反応することがあります。

13. 報時と動き

- 報時は報時スイッチが「ON」または「自動消音」のときに鳴ります。
- 報時スイッチが「自動消音」のときには、明暗センサーにより暗くなると報時しません。
- メロディの演奏順序は変更することはできません。
- 時刻ごとに鳴るメロディは固定されていません。
- 曲目は時計裏面に表示してあります。
- メロディおよび鐘の音は電子音によるものです。

毎正時のとき

メロディとともに、鐘部のランプが点滅し、人形が鐘を打つような動きをします。メロディ終了後は、時刻に対応した数だけ鐘が鳴ります。

30分のとき

鐘部のランプが点滅し、人形が鐘を打つような動きをして、1回鐘が鳴ります。

メロディの試聴

モニターボタンを押すと、報時音を試聴することができます。

報時音が鳴っているときにモニターボタンを押すと、つぎの曲に切り替わります。つぎの正時には、試聴したメロディのつぎの曲を奏でます。

音量の調節

モニターボタンを押し、報時している間に音量つまみを回して調節します。

おもな製品仕様

自動受信修正回数は受信状況により受信を試みる回数が異なります。

条 件	自動受信回数
受信成功から 72 時間以内	最少 1 回/日 最多 3 回/日
連続 72 時間以上受信に失敗 始めから受信に失敗 手動で時刻合わせをした	12 回/日 (2 時間間隔)

時 間 精 度	標準電波の受信に成功している場合 (受信直後) 表示精度 秒針 ±1 秒以内 時針・分針 目盛に対して±3 度以内 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±20 秒 (常温中のクォーツ精度)
報 時 精 度	表示時刻に対して±1 秒以内
使 用 温 度 範 囲	-10~+50℃
使 用 電 池	表示用: 単1形アルカリ乾電池 (JIS 規格 LR20) 4本 内蔵用: CR2032 1個
電 池 寿 命	表示用: 約 1 年 (報時音量 最大、報時スイッチ「自動消音」) 内蔵電池は出荷時より 5 年以上交換不要
そ の 他	電波サーチ機能、受信表示ランプによる受信成功・失敗表示 明暗センサーによる秒針および報時停止、電池交換時期お知らせ機能 内蔵電池による時刻のバックアップ 報時: (毎正時 メロディ+鐘、30分 1回鐘が鳴る) 報時スイッチ (ON / 自動消音 / OFF)、音量調節、メロディモニター

- ※付属の電池は、工場出荷するときに入れてありますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。
- ※表示用の電池寿命は電波の受信に成功して、1日7時間秒針が明暗センサーにより停止しているときのものであります。
- ※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品 (電子回路・歯車等) は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品 (ケース・文字板等) の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。
- 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

お問い合わせ先

お問い合わせの際は製品番号 (型番) 「4MN464」をお伝えください。

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-557-005

受付時間 9:00~17:45 (土日、祝日および当社休日を除く)

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12

<http://www.rhythm.co.jp>

M285-SXXZ
(Y0612)